

日本株ファンドマネージャーの視点 『働き方がオフィスを変える』

※このレポートでは、日本株ファンドマネージャーが注目しているトピックなどを毎週お届けします。

企業の訪問を行っている、オフィスが少しずつ変化してきているように感じます。小さな変化だとは思いますが、人手不足と働き方改革などが背景となっている印象です。サテライトオフィスやフリーアドレスの導入などと同時に、従業員の満足度を高めるための設備を導入したり、新しいアイデアを希求して非日常の演出を行ったりしています。今の環境から考えると、ますますこういった動きが強まるのではないかと考えています。

その一例として、趣向を凝らした受付や会議室を見かける機会が増えています。ファッション通販サイトを運営する企業の受付は、宇宙をイメージした造りで、真っ暗な通路の先に受付電話が置かれていました。中は宇宙船のイメージで、各部屋がキャビンのようになっていました。クラウドソーシングサイトの運営企業の会議室は、リゾート地のカフェをイメージした造りになっていました。他にも最近新本社に引っ越したという、ゴルフポータルサイトの運営会社では、社内に試打室が設けられていたり、部屋の壁面に有名コースのグリーンが印刷されていたりと、今すぐにでもゴルフ場に行きたくなるような造りになっていました。話も弾み、メーカーとの商談にもプラスに作用しているとのことでした。

こういった動きを後押しする企業も出てきています。あるアウトドア製品のブランド企業は、アウトドアとオフィスを融合するコンサルタントサービスを始めたとのこと。「公園に設置したテント内で会議を行う」という実証実験を行った結果、議論やコミュニケーションの活発化、アイデアの増加など良好な結果が得られたとのこと、他社への売り込みをかけているそうです。実験の映像を見せていただくと、社長がおっしゃっていた通りに、参加者の表情が変わったところは印象的でした。

オフィス環境の変化については、政府が後押ししていることもあり、サテライトオフィスの設置も増加していると思われます。例えば、内閣府が実際に青森県や高知県にサテライトオフィスを設置したり、総務省が「おためしサテライトオフィス」のプロジェクトを行ったりしています。これらは地方型のサテライトオフィスと言えます。

ただ、私はフリーアドレスとの相性も良い都市型のサテライトオフィスのほうが増加するのではないかと考えています。例えば、通信キャリアに勤める私の友人も、月に何回かは都心近くにあるサテライトオフィスで仕事を行っているようで、いくつか不便はあるものの、新たな気分で仕事に臨めて良いと話していました。このような動きから恩恵を受けられるのが、オフィス用品を扱う企業です。事務用品を販売している企業のIR担当者によると、小学生が持っているようなステーションリーセットをシンプルにしたものが売れているとのこと、恐らくフリーアドレス化されたオフィスで使われているのではないかとおっしゃっていました。

海外に目を転じると、米ITジャイアントなどの世界企業は、働き方もオフィスも、もっと多様化しているようです。日本のオフィス環境は、このような企業を手本に、より変化していくのではないのでしょうか。

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在におけるレポート作成者の判断に基づくものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

CLOSEUP REPORT

2017年8月28日
情報提供資料

蛇足ながら、弊社は昔ながらのオフィス環境です。効果を実感するためにも、アウトドアでの会議など、簡単にできるところから提案してみたいと考えており、例えば、チームリーダー宅でのバーベキューあたりは良いのかもしれないと思っています。

株式運用第一部
部奈 和洋

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在におけるレポート作成者の判断に基づくものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会